

＊＊子どもを事故から守るためのお役立ち情報＊＊

異物を飲み込み、喉に詰まってしまったとき、あなたならどう行動しますか？

『子どもを事故から守る！事故防止ハンドブック』(こども家庭庁編集・発行)
今回の事例座談会の資料として扱いました。子どもの発達と起こりやすい事故、もしもの時の応急手当方法、誤飲対処早見表等が紹介されています。是非ご一読ください。
応急手当方法のページをトイレの壁に貼っているというママも！

先輩パパ・ママがやってよかったこと

買ってよかったのは、テレビガード・カバーです！子どもがぶつかって画面が割れたことがあります。火災保険のプランによっては保険金がおりることもあるようです。また、折りたたみ式の踏み台に指を挟んで切断する事故があったと聞いたので、滑りづらくためないものに変えました。子どもが自分で運んで使えるので重宝しています。（3児のママ、Sさん）

やってよかったのは、フロアマットをリビングの半分に敷き詰めたことくらいです。家具のコーナーや扉にガードクッションを付け、キッチンとの境にゲートを設置したこともありましたが、上の子たちが大きくなるにつれて、ガードクッションははがされ、ゲートも壊され…結局一番下の娘が生まれる頃にはすっかり何もなくなりました。きょうだいがいると細やかなコントロールはできないと割り切り、熱くなるもの、刃物類や玄関・窓の鍵だけ最低限気を付けて、ヒヤリハットな日常を楽しく過ごしています！（3児のママ、毎日がヒヤリハットさん）

私が買って良かったと思うものは、転倒防止リュックです。子どもが立ち上がるようになると、嬉しい反面、頭が重いため、よくバランスを崩し転びます。そんな時に、親のヒヤヒヤと子どもが転倒した際の大変な頭や背中への衝撃を軽減してくれます。加えて、ミツバチ等の様々な可愛らしいデザインのリュックが売られており、装着すると、かわいい我が子の愛らしさが倍増するメリットも！是非お試しあれ！（1児のパパ、ふかふ〇か〇かのうたさん）



バンサンスー (天才キッズクラブ楽学館武蔵小杉保育園)

●材料 (園児5人前) ****

はるさめ 30g 塩 少々
醤油 2g (小さじ3分1) ハム 25g
きゅうり 100g ごま油 (小さじ1強)
米酢 11g (小さじ2強) てんさい糖 4.5g (小さじ1.5)
にんじん 20g

※てんさい糖が無ければ白砂糖でも代用可能ですが少し少なめにしてください
※はるさめは一般的には緑豆はるさめを使うことが多いのですが、保育園で使っているものはさつまいもとじゃがいものでん粉からできているはるさめで、モチモチした食感があり、調味料を吸ってくれてより美味しいになります！

●作り方 ****

- ①春雨を茹でて切ります。
- ②きゅうり、にんじん、ハムは千切りにします。
- 保育園では、すべてスチームで火を通してますが、電子レンジでチンしたり、塩もみで柔らかくするでも良いです。
- 塩もみの際は、調味料のお塩を加減して下さい。
- ③合わせた調味料と具材を合わせます。

市では、レシピ投稿検索サイト「クックパッド」に「川崎市のキッキン」を開設し、健康に配慮したレシピや保育所、小学校のレシピ、地元食材を使った地産地消レシピ、備蓄品を使用した食品ロス削減レシピなどを紹介しています。ぜひご活用ください。



本紙の配布や掲示に協力していただける場所を探しています。
右記までご連絡ください。



誤飲や中毒の相談ダイヤル(情報提供料:無料、365日24時間対応)

つくば中毒110番

029-852-9999

大阪中毒110番

072-727-2499

緊急時の連絡先 事故・事件 110番 (いつ、どこで、だれが、なにを、どうした)
救急・火事 119番 (救急/火事の別、住所、名前、状況説明)

夜間お子さんの体調の判断に迷った時

かながわ小児救急ダイヤル (毎日18:00~翌8:00)
TEL#8000 (ダイヤル回線・IP電話・PHS等 TEL050-3490-3742)

*夜間お子さんの体調の事で判断に迷われた場合、その対処方法について電話相談を行っています。

誰でも起こりうる？熟性けいれんについて

子どもが急に顔面蒼白、白目を剥いてガタガタ震えだし、本当にパニックになりました。一般的にけいれんが5分続いたら救急車を呼ぶように言われています。冷静に様子を見て震えだした時間がどのくらい続いたか、震えに左右差があるか等を医師に伝えられると良いそうです。

経験した親の声

看護師さんからひとことアドバイス――

上記の内容に加えて、状況を医師に正確に伝えるため、動画を撮っておくと役立ちます。嘔吐時の窒息に注意しながら安全な場所で、そばから見守りましょう。（中原区保育・子育て総合支援センター）



みかんのおひさま (中原図書館提供)

作・絵／真珠まりこ
出版社／ほるぷ出版
対象／乳児

みかんのかわをぴろ、とむくと、みかんちゃんがおきてきます。みかんちゃんのみんなのちからでみかんのかわをおそらく、ぽーん！あったかい霧囲気のかわいい絵本です。



編集後記

座談会後、「これもヒヤリハットだ！」と思う出来事が増えた気がします。過敏になってしまいそうなところですが、できるだけ子どもの自然な好奇心に応えたいとも思います…。親も子ものびのび生活ができるように、まずは身の回りの整理整頓から見直していくたいです。（H記）

このゆびと～まれ！を一緒に作ってみませんか？

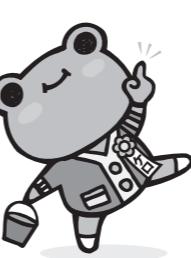
次回以降の編集会議は、12月18日(水)、1月16日(木)午前10時から、中原区役所別館1階幼児室で予定しています(1時間程度)。皆さんのお気になることを記事にできるチャンス！興味のある方はお気軽にお問い合わせください。
※念のため開催の有無を下記連絡先へ確認いただけたら、ご参加ください。

中原区のシンボルマーク



連絡先：中原区役所地域ケア推進課
TEL: 044-744-3304 / FAX: 044-744-3196
メール: 65keasui@city.kawasaki.jp

次号(第110号)は
令和6(2025)年2月発行予定です。



このゆびと～まれ！

なかはら子ネット通信

発行：中原区総合子どもネットワーク(なかはら子ネット)
なかはら子ネットは区内で子育てしている人達を応援する中原区総合子どもネットワークの愛称です。区内の自主グループや関係団体・機関等で組織しています。

令和6(2024)年12月

第109号



家庭でのヒヤリ・ハット事例調査

事例座談会を実施しました！

ところで、なぜヒヤリ・ハットが重要なの？

*ヒヤリ・ハットとは、怪我等につながりそうな「ヒヤッとした」「ハッとした」出来事が起きたが、事故にはいたらなかった事案のことです。ハインリッピの法則では、1件の重大災害には300件のヒヤリ・ハットがあるとされています。どんな些細なヒヤリ・ハットであれ、周囲の人が危険性を認知し、事故が発生しないように心がけたり、必要ならば対策を施すことが重要なのです。

ハインリッピの法則

…1件の重大事故
…29件の軽微な事故
…300件のヒヤリ・ハット

事例1 リビング 触る、食べる 危険！

つかまり立ちをするようになって色々なものに興味津々。最近は充電コードを抜いてかじっているのを見てヒヤリ。感電から守れるようコンセントカバーを使っています。ただ、部屋の全部はカバーできないので限界を感じています。（Sさん 7か月）

なんでも口に入れてしまう。静かにしてるなあと思っていたら紙をちぎって食べていた。（Hさん 1歳）

事例2 リビング・寝室 倒れる、挟まる 危険！

プラスチックの棚がとても気になっていて、開けないようにチャイルドロックをつけたら、そこにつかり立ちをし、棚ごと子どもが倒れていきました。また、危険な台所などに入らないようベビーゲートを設置していますが、体重をかけると想像以上に力がありゲートごと倒れていました。（Tさん 7か月）

寝ているときに、ふと起きるとベッドと壁の間に子どもが！挟まる隙間を作らないよう心がけていたのですが、ベッドがずれていたようでした。日々点検することも大事だと感じています。（Sさん 7か月）

事例3 台所 やけど、家電に要注意！

片手で抱っこしながら離乳食を調理していたら、子どもが熱々のお粥に触りそうになっていました。（Hさん 1歳）

料理を終え、別の作業していると子どもが鍋の柄に触れて熱々の味噌汁がひっくり返った。（友人の経験談）



事例4 お風呂 滑る 危険！

お風呂はバスチェアがよく滑るので転倒に気をつけています。親が頭を洗う瞬間は目を離す瞬間なので、特に警戒しています。（Hさん 1歳）

お風呂あがりは滑らないようタオルに包んで床に一度寝かせ、夫にパスしています。（Tさん 7か月）

ワンオペでお風呂に入れるので、自分が洗っている間は扉を半分開けた状態でベビーゲートに囲っておき、洗面所で待ってもらっています。（Sさん 7か月）



参加した保育士さんからのアドバイス

日々過ごしている中で、「ヒヤリ」、「ハット」することがあります。「なんでこんなことをしてしまったのだろう」「わが子を危ない目に合わせてしまった」など思ってしまうこともあるかもしれません。ヒヤリ・ハットの経験は誰にでもあります。今回の事例座談会の事例によって、「こういう時は気をつけよう」「こんな時はどう対策をとればいいかな」など考えるきっかけになればうれしいです。今回のヒヤリ・ハットの経験談を共有して大きな事故を防げるようしていきたいですね。何かありましたら、気軽に保育園や地域子育て支援センター、子育てサロンなどにお話に来てくださいね。お待ちしております。（中原区保育・子育て総合支援センター）

参加者の感想

自分の不注意で何度も危ない目に遭わせているが、自分だけではないことがわかつて少し励まされた。また、夫にも日頃から危機感を持ってもらえるように強い言葉で注意して子どもを守りたいと思った。自分がいろいろ言うと「このくらい大丈夫」と言われがちなので…。（mtmtさん）



赤ちゃんが安全に過ごせることが目的だが、住宅環境や家族構成などによってその方法は様々なので、いろんな方からのアドバイスが参考になった。上記事例もそうだが、そもそもその発想を変える柔軟なアドバイスをもらえたのもよかったです。（ぱく母）

